

1. 事業の概要

(1) 事業の概要

須賀川ダムは、須賀川水系須賀川(2級河川)の愛媛県宇和島市柿原地先に多目的ダムとして建設するもので、須賀川総合開発計画の一環をなすものである。

ダムは、重力式コンクリートダムとして高さ42.3m、総貯水容量3,050,000 m^3 、有効貯水容量2,930,000 m^3 で、洪水調節、不特定用水の確保、上水道用水の供給を目的とするものである。

○ 洪水調節

ダム地点の計画高水流量330 m^3/s のうち260 m^3/s の洪水調節を行ない、下流宇和島市街地域の水害を防除する。

○ 流水の正常な機能の維持

ダム地点下流の須賀川沿岸の既得用水の補給を行なうとともに流水の正常な機能の維持と増進をはかる。

○ 上水道用水

ダム地点において新たに宇和島地区に最大12,900 $\text{m}^3/\text{日}$ (0.149 m^3/s)常時9,400 $\text{m}^3/\text{日}$ (0.109 m^3/s)の取水を可能ならしめる。

(2) 事業の必要性

○ 洪水調節

須賀川は、昭和18年7月の豪雨による大災害を契機として、昭和21年度から昭和26年度の間、中小河川改良事業として、計画高水流量200 m^3/s (光満川合流点より上流)、370 m^3/s (合流点より下流)をもって一応洪水に対する安全を確保してきた。

しかしながら、市街地を貫流する本河川の特性と昭和23年8月26日、昭和38年8月9日の出水等周期的な須賀川の氾濫によって、その都度莫大な被害を受けており、一方下流部の都市化はますます進んでいるため治水事業の充実は目下急務となっているが、中流部は河川沿に人家が密集しており河道改修は事実上困難であるため、ここにダムによる洪水調節により治水の万全を期さんとするものである。

○ 不特定用水

須賀川下流部は都市生活の発展に伴う下水排水の増加によって河川の汚濁が甚しく、特に濁水期には濁水が滞流して悪臭を放ち、沿川住民の生活に重大な支障のあることは勿論もはや正常な河川とは云い難い現況である。

よって、ここに須賀川流水の恒常的な安定によって市民生活の安定を図るべく河川維持用水を確保するものである。

○ 上水道

宇和島市の上水道は、最近25年間に断水のなかったのはわずかに3年間であり、特に昭和39年の冬期、昭和42年の夏期干ばつ時は3~4時間給水が1ヶ月半に亘って続く惨状となった。

このため、市当局は毎年の如く応急的な取水井の増設等により急場をしのいできたが、都市生活の向上に伴う水需要の増加によって、もはや糊塗的な手段では如何ともし難く、この現状を改善すべく上水道事業の計画を樹立するものである。